

鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和 10 年 3 月 31 日までです。

①研究課題名	プロゴルファーのスイングに関する研究
②対象者及び対象期間	鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究センターにて、2016 年 1 月から 2018 年 1 月までの期間中にパフォーマンス測定（ドライバーショット）を実施したプロゴルファー 13 名を対象とする。
③概要	ゴルフにおいて、飛距離を獲得するためには、ボールインパクト時のクラブヘッドスピードを上げることが重要である（川島, 2004）。これまでに、ゴルフスイング中の姿勢や体幹に着目した研究は数多くみられ、その重要性はすでに知られている。一方で、ドライバーショット時の地面反力やフリーモーメントに関する先行研究は、男性ゴルファーを対象としたものに限られている（Barrentine et al., 1994; Han et al., 2019; Worsfold et al., 2008）。また、男性ゴルファーと女性ゴルファーでは、スイングのメカニズムが異なる（Egret et al., 2006; Zheng et al., 2008）ことを鑑みると、男性ゴルファーを対象とした研究結果を、女性ゴルファーにそのまま適用することは難しいと推察される。このような運動学的な性差は、スイング中の地面反力やフリーモーメントの違いが影響している可能性が高いと考えられる。そこで、本研究は、男女プロゴルファーを対象に、ドライバーショットにおけるクラブヘッドスピードと両足のフリーモーメントおよび鉛直力との関係を明らかにすることを目的とする。
④研究の目的・意義	本研究は、男女プロゴルファーを対象にドライバーショットにおけるクラブヘッドスピードと前足と後足のフリーモーメントおよび鉛直力との関係を明らかにすることを目的とする。本研究の結果から、ゴルフスイング時のクラブヘッドスピードを向上させるための指標を、性別ごとに提示することが可能となる。 また、本研究に使用するデータは、研究のために新たに取得したのではなく、鹿屋市とのスポーツまちづくり推進事業を通じてすでに取得されたものである。これらのデータは、当初は研究目的ではなく、選手への評価・フィードバック等の目的で取得されたものであるが、研究目的に資することから、匿名化のうえで研究に転用する。
⑤研究期間	倫理審査承認日から令和 10 年 3 月 31 日まで
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	2016 年 1 月から 2018 年 1 月までの期間中に測定したデータを利用します。使用するデータは、個人が特定されないように匿名化します。
⑦利用または提供する情報の項目	身体組成のデータ（性別、年齢、身長、体重）スイング動作中のクラブの動き、地面反力、フリーモーメント
⑧利用の範囲	鹿屋体育大学・理事・副学長・前田明 鹿屋体育大学スポーツイノベーション推進機構・特任助教・亀田麻依 鹿屋体育大学スポーツ武道実践科学系・教授・永原隆 至学館大学・健康科学部・体育科学科・准教授・水谷未来

⑨研究試料・情報の管理について責任を有する者 (お問い合わせ先)	鹿屋体育大学・理事・副学長・前田明 Tel: 0994-46-4800 Email: amaeda@nifs-k.ac.jp
⑩事務局	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係 Tel : 0994-46-4820 E-mail : kokusai@nifs-k.ac.jp

以下は、過去に承認されることがある場合

⑪承認番号	
⑫過去の研究課題名と研究責任者	